京都大学新聞
学生問題
京都大学新聞社
京都市左京区吉田
京都大学構内
京都☎8111(学内142番)
振替・京都3909
（1部15円）

西寮で入寮者募集

吉田寮には現在西寮の第一次募集を行っていく。新寮生の入寮出来、寮生の数が増加増えるので、新入生と上級生のバランスをとるため西寮をあけておいたのである。入寮は直ぐ入る通りである。

募集人員　若干名
資格　三十年一三十一年九月入学の男子（但し年齢三十五才以下の者）
出願期間　入寮者　随時受付、可次前月初旬頃
締切　五月二十日
提出先　学生部厚生課
面接　五月二十六日二十七日、午前十時・午後四時
場所　西寮
入寮所定費　五千二百円生徒前
京都ラグビー蹴、京大優勝
重松君（京大）首位打者に
四月一日から行なわれた京都大学野球春のリーグ戦は十五日最終日を迎えた。この京大は法政大六・八〇を圧勝し、このリーグ戦の優勝を決った。また首位打者は京大の重松君が四割一分二厘の成績で首位打者に決った。詳細は次のとおりである。
京大 2100 京学大
京大 2100 京府大
京大 112 京外大

京大人事

併任　教養部長兼務教授　山下孝夫（教養教授）、防衛付属助教授　池田観則所長事務取扱い　石原慶郎（工教授）、同　岸本方（教養教授）、新講師　山下孝夫（教養教授）、同　福原興輝（教養教授）、同　野田実（教養教授）、博物館教授　藤岡実（動物教授）、同　林猛雄（動物教授）、同　西脇宏（同）、同　堀内義一（同）、農教授　石井第二郎（食付属農場教授）、同　林猛雄（動物教授）、同　山田正三（農教授）、防衛助教授　柳橋忠（教授）、同　山田実（同）、防衛助教授　金森振（工助教授）、同　吉田吉一（同）、同　高橋鳴鳴（防衛助教授）、米水晴一郎（農教授）、同　三宮興（防衛付属研究所助教授）、防衛研助教授　国野健一郎（同）、同　和田良樹（火山研助教授）

海外出張

▽理学部　（7教授40・5・25～40・6・3）約ラオスに関する研究調査のため（ヨーロッパ）に行かれる。（ヨーロッパ・アメリカ）・ヨーロッパ・アメリカ（教授）40・5・25～40・6・2）研究調査のため出張（ヨーロッパ）・教授（教授）40・5・25～40・6・7）小笠原諸島学術調査のため（教授）40・6・7～40・9・18）海外調査のため（教授）40・6・7～40・9・18）海外調査のため（教授）40・6・7～40・9・18）海外

マルコムX—アメリカ・ネグロ闘士の死

訳・魚谷　エヴリン・セル　恭

去る二月二十一日、ニューヨークのアレクサンドル・ハミルトン・ホテルで、マルコムXが、ネグロ解放運動の指導者として、その生涯を終えた。

マルコムXは、ネグロ解放運動の指導者として、その生涯を終えたのである

民族派の文学運動によせて

橋川文三

一　文学運動を包括

二　現代史の定義とは

三　歴史家の影山氏

四

五　歴史を超えよ！

見事な資料処理

今後に問題を多数残す

日韓魚業交渉仮調印に思う

徐光雄

焼石に水の漁業資金

李ラインのみに活路を

新科学・技術3講座刊行

基礎分析化学講座 全12巻
日本分析化学会編
予約募集中

有機化学における物理的方法 全10巻
編集委員 東大教授 大木道則 / 東大教授 井井上道 / 東大教授 原昭二

解説エレクトロニクス・コース 全8巻
編集 大島正光・川上正光 / 古賀正三・武藤義一

モダンケミストリー
反応速度論
酸と塩基
結合と構造
核化学の基礎
ランタニドの化学
電子構造と周期律
分子の運動
生命現象の化学

化学大辞典 全10巻

物理化学概説 上 物理化学教科書 微分・積分教科書

共立出版株式会社
東京都文京区茗荷谷一の四・振替東京57035番

好評発売中！
京大を受ける人のために
○市内主要書店
京大新聞社
定価〒共三百二十円

大幅に変わる入試の指針
■四十年度版「京大を受ける人のために」は京大新聞社、親学会の共同編集です。
■京大の全貌をあますところなく受験生諸君にお伝えします。
■受験に関するあらゆる知識を掲載し、受験生に有益な忠告を示唆します。
■読む雑誌であるとともに、考えるための雑誌でもあります。受験生と一緒に考えています。
■親学会研究部による詳しい入試問題の解答と解説があります。
■大学生となってからも充分役に立つ記事が含まれています。大学そのものを追求し新しい大学像を描き出しています。

京大を受ける人のために

アジア映画祭をみて

稀薄な状況の反映

ぼくらが文句を言う西洋の文学や映画から、それ自体ぼくらの文学や映画から、それ自体ぼくらの文化に影響を与えるものがどれほどあるかと言えば、ぼくらの眼にはそれは位置づけを与えられる程おぼろげなものだ。そんな時、ぼくらの眼に指摘されたA作品が、ぼくらの眼に訴えてくるものがあるとしたら、それは、ぼくらの文化に対する、ぼくらの文化に対する、ぼくらの文化に対する